

2023年卒
Vol.9

7月1日時点の就職活動調査 <速報>

キャリアス就活 2023 学生モニター調査結果 (2022年7月発行)

2023年卒業予定者の採用選考が6月1日に正式に解禁されてから1カ月が経ち、就職採用戦線は大きな山を越えた。7月1日現在のキャリアス就活・学生モニターの就職活動状況について調査を行ったところ、内定率は8割台半ばに達していることがわかった。

今月も内定状況のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 7月1日時点の内定状況

- 内定率は84.9%。前年同期実績(80.1%)を4.8ポイント上回る
- 就職活動終了者は全体の74.6%。継続者は25.5%

2. 就職活動継続学生の今後の方針

- 「新たな企業を探しながら、幅広く企業を広げる」が6月より大きく増加(25.4%→30.3%)

3. 就職環境への考え(売り手市場の実感)

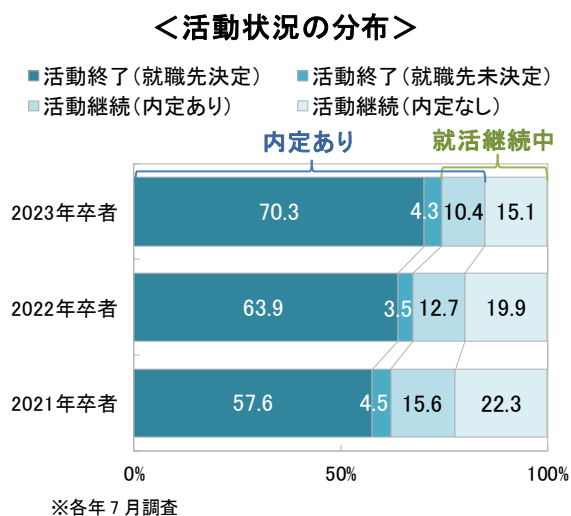
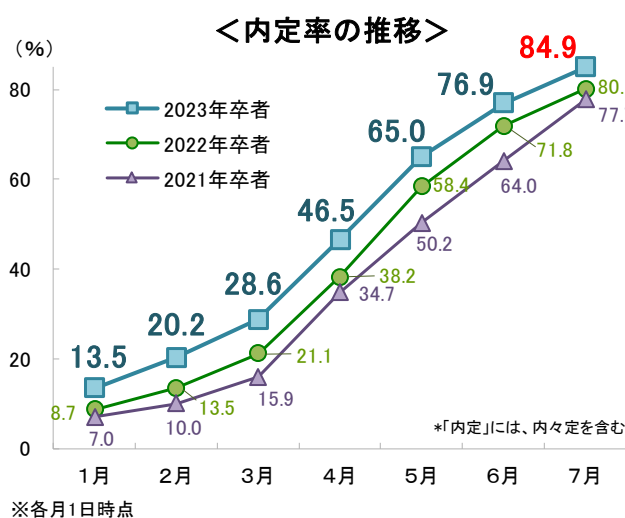
- 売り手市場だと感じる学生は全体の4割強(43.0%)。コロナ禍前に迫る

1. 7月1日時点の内定状況

7月1日現在の学生モニターの内定率は84.9%。前年実績(80.1%)を4.8ポイント上回る高い数字を記録した。ただ、4月時点では前年同月との差は8.3ポイントあったが、月を追うごとに差は縮小し、今回さらに縮まった(8.3ポイント差→6.6ポイント差→5.1ポイント差→4.8ポイント差)。

なお、コロナ禍前の2020年卒者の7月の内定率(84.0%)と同水準。

調査時点で就職先を決定して就職活動を終了した者の割合は全体の70.3%。複数内定を保留しているなど就職先未決定である者(4.3%)を合わせると、終了者は74.6%。活動継続者は「内定あり」(10.4%)、「内定なし」(15.1%)を合わせて25.5%。



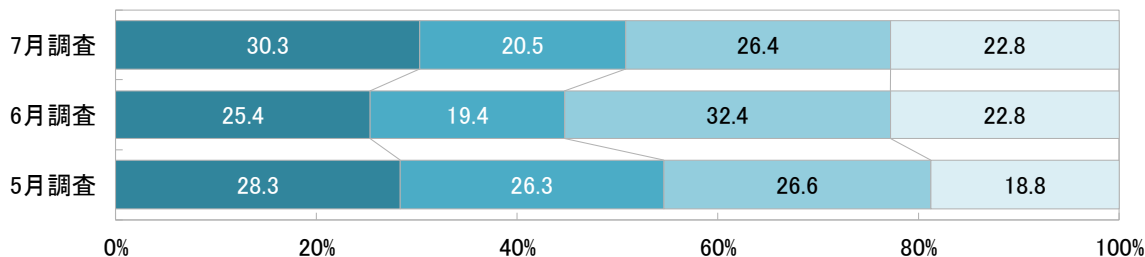
2. 就職活動継続学生の今後の方針

内定保持者を含め就職活動を継続している学生 (全体の 25.5%) に、今後の方針・戦略を尋ねた。

6 月調査では「現在選考が進んでいる企業に絞って活動する」が 3 割を超え最も多かったが、7 月は 2 割台に減少。代わりに「新たな企業を探しながら、幅広く持ち駒を広げていく」が増えた (25.4% → 30.3%)。夏採用などに向け、視野を広げて仕切り直そうとする動きが見られる。

<今後の就職活動の方針・戦略>

- 新たな企業を探しながら、幅広く持ち駒を広げていく
- これまで興味をもった企業(エントリーした企業)を中心に活動する
- 現在選考が進んでいる企業に絞って活動する
- 志望度の高い企業に絞って活動する

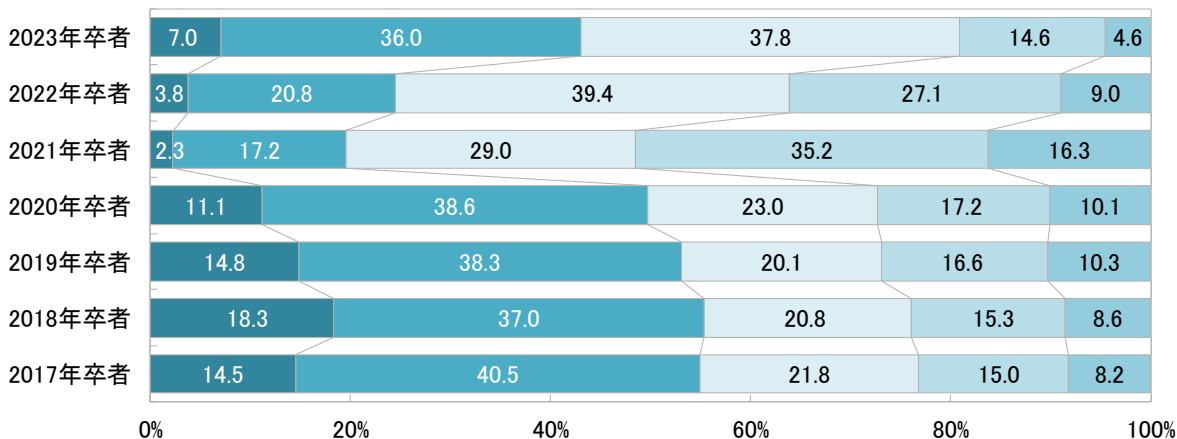


3. 就職環境への考え (売り手市場の実感)

就職活動を通して、自分たちの就職環境をどう捉えているのかを全員に尋ねた。「完全に売り手市場だと思う」「やや売り手市場だと思う」を合わせると 43.0%。前年調査 (計 24.6%) より 18 ポイントあまり増加し、コロナ禍前 (2020 年卒以前) に近づいている。

<就職環境への考え(売り手市場の実感)>

- 完全に売り手市場だと思う
- やや売り手市場だと思う
- どちらでもない
- あまり売り手市場だと思わない
- まったく売り手市場だと思わない



※各年 7 月調査

調査概要

- 調査対象 : 2023 年 3 月に卒業予定の大学 4 年生 (理系は大学院修士課程 2 年生含む)
- 回答者数 : 1,207 人 (文系男子 389 人、文系女子 373 人、理系男子 311 人、理系女子 134 人)
- 調査方法 : インターネット調査法
- 調査期間 : 2022 年 7 月 1 日~5 日
- サンプリング : キャリタス就活 2023 学生モニター